

## 小児がん拠点病院・小児専門施設緩和ケアチーム研修会

## 主旨

小児がん拠点病院が選定されその要件として緩和ケア体制整備が含まれたことや、平成 30 年度の診療報酬改定で小児患者に対する緩和ケア加算の基準が整備されるなど、小児緩和ケアの体制整備は法制度から進んできている現状がある。2015 年の調査ではわが国の小児がん患者の 12%に緩和ケアチームの介入があり、うち 7 割が成人の緩和ケアチーム、3 割が小児専門の緩和ケアチームが介入していることがわかっている (Yotani, et al J Pain Symptom Manage 2018)。

2018 年度に小児がん中央機関事業として小児がん拠点病院緩和ケアチーム研修を実施し、現状について共有する場を持った。その際、大学病院や成人のがん診療拠点病院では緩和ケアチームとの協働をより強化する必要があることが課題としてあがり、現在日本緩和医療学会を中心に緩和ケアチームが小児患者に関わる際の診療支援の方法が検討されることとなった。

一方で小児専門施設においてはもともと緩和ケアチームの活動がなかった中で、これから緩和ケアをどのように専門的に進めていくかについては各施設が模索しながら進めている現状が明らかとなった。今後の小児緩和ケアを進めていくためには、小児専門施設における緩和ケア体制の現状と課題を共有し、一定の基準を作成していく必要があると考えられる。

## 対象

## 小児専門施設の緩和ケアチーム

- ・小児がん拠点病院だけでなく拠点以外の小児専門施設にも門戸を開く
- ・チーム活動に中心的に関わる医師・看護師・薬剤師・心理士など多職種を想定

## 内容

## グループワーク

- ・現状の共有
- ・活動の工夫

⇒今後の緩和ケア体制の進め方についての素地を作っていく

日時 2020 年 1 月 18 日 (土) 半日研修

場所 成育講堂もしくは品川近辺の会議室を予定